

★チャレンジ! 夢に向かって★

* ~ふるさとを愛し、一人一人が「か・が・や・く」国見の子の育成~

太田文化プラザに咲いた大輪の笑顔



一人はみんなのために、みんなは一人のために

感動の全校音楽劇本公演！！

11月10日（日）の全校音楽劇には、たくさんの皆様（来賓28名、保護者・家族65名、地域の皆様68名 計161名）から御来場いただき、ありがとうございました。「オープニングから懐かしさと感激で涙しました。」「みんなの笑顔、元気、やさしさが心が温かくなりました。」「夢のような一時を過ごさせていただきました。」「感動と元気をありがとう。」「皆さんの思いが会場にいるこちらにしっかり伝わりました。」など、子どもたちの頑張りへの称賛の声をたくさんいただき、うれしく思いました。

全校音楽劇本公演では「完成度」や「結果」が問われることがあります。しかし、学校教育という子どもの教育の場で「完成度」や「結果」を第一優先にすると、ややもすれば教育課題につながる恐れがあります。「完成度」や「結果」よりも本公演までの「過程」が何より大切だと思います。子どもたちは、全校音楽劇練習を通して伝えたい思いは何かを考え、「どのようにセリフを言えば伝わるのか」「どのような動きをすれば伝わるのか」などと、自分の演技に自分自身で納得がいくよう工夫していました。特に6年生は、様々なアイデアを出しながら歌の振付を考え、全校音楽劇をリードしてきました。子どもたちには、思いを伝えるために仲間と協力して工夫し、表現したことが楽しかった、すばらしかったと感じてほしいと思います。その結果として、見ている方々からの称賛を受けたときに、さらに喜びが大きくなればと思うのです。

さて、全校音楽劇で得た感動を輝かせるためには、これからの学校生活が大切になります。今後の教育活動を通して、全校音楽劇で身に付けた力を生かし、さらなる成長の力としていきたいと考えています。繰り返しになりますが、御多用のところ、たくさんの皆様に御来場いただきましたこと、さらに保護者の皆様には衣装づくりや当日の受付、そして後片付けなどに御協力いただいたことに心より感謝申し上げます。